

令和5年10月24日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム・ひなたぼっこえびすヶ丘

施設種類：認知症対応型共同生活介護

会議開催日時：令和5年 10月 24日（火）14：00～15：00

開催場所：ひなたぼっこえびすヶ丘

出席者：

（人数）

利用者	0人	知見を有する者等	0人
利用者家族	0人	地域包括支援センター職員	0人
地域住民の代表	4人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			2人

【行政からの伝達事項】

- ・季節の変わり目で体調崩しやすい季節です。お身体に気をつけてください。
- ・運営推進会議の記録を市へメール提出をお願いします。

【入居者状況】

入居者9名（女性 9名）

平均年齢 91歳

平均介護度 2、4（1～4）

- ・入院、退院～1名（腰椎圧迫骨折）

【活動状況】

- ・散歩・日光浴・ドライブ・訪問カット
 - ・新聞折り・塗り絵・体操・下肢訓練
 - ・押し寿司づくり・どらやき作り
- ・季節行事～美濃地ひまわり鑑賞・夏祭り・しその実・芋つる処理

【事故・ヒヤリハット・苦情】

- ・ 事 故 10件（内出血・薬の紛失・転倒）
- ・ ヒヤリハット 7件（転倒の危険・エレベーター中に立っていた・押しピンを持っていた。・エアコン切れ・補聴器管理）

【身体拘束適正委員会】

- ・ 身体拘束等なし

【避難訓練】

- ・ 夜間帯で火災発生想定した訓練実施

【研修会】

- ・ 感染症・自然災害（業務継続計画策定）～2名出席
- ・ 利用者の立場に立ったケア～2名出席

【明誠高校実習生受け入れ】

- ・ 1名 実習期間 6日間

【その他】

（参加者の方より）

- 事故・ヒヤリハット報告について、件数が多いですね。
しかし、入居者さんをよく見ておられると思いますよ。
仕方がない所もあるんじゃないかなと思います。

↓

（管理者より）

- ・ 入居者の方の中には、自分の思い、意志が強い方が多く、付き添いや介助を嫌がられる事もある為、状況に応じて遠目で見守ることもある。
夜間はセンサーを使用し、鳴ると、職員が居室に伺い対応している。
- ・ 薬については、介助して服用するのを嫌がられる方もおられ、手の平にのせて見守りで服用し、錠剤が床に落ちている事がある。タオルを膝の上に敷いて服用してもらおうが、タオルからこぼれ落ちる事もある。
最終的に床に落ちてないかしっかり確認をしている。

（参加者の方より）

- ・ 物価が高くなって施設が大変だと思います。大丈夫ですか？

↓

(管理者より)

- 物価が高くなり大変ですが、食事の質は下げたはいけないと思い、職員が出来る限り、安くて新鮮な食材を探して購入している。
地域の方からも野菜を頂き、感謝している。
- 光熱費については、こまめな電気の消灯、エアコンの調整等工夫をしている。

(参加者の方より)

- JAミニデイサービスが11月19日実施。(チラシ持参)
- 第4土曜日元気体操実施。
- 秋祭り 11月3日実施。おにぎり販売もある。
- しめ縄造りも実施。

↓

(管理者より)

- 本社より冬を越し3月春ころから、少しずつコロナ前の生活に戻るようにしていこうという意向になっている。
地域の行事にも、職員が見学参加からはじめていけたらと思う。

(参加者の方より)

- どうやって施設の方と関わればよいかわからない。

↓

(管理者より)

- コロナ前は、地域の方が行事の帰りに寄ってもらって踊りを披露してもらい大変喜ばれた。
入居者の方と会話されるだけでも嬉しい。ふらっと寄り頂きお話をしてもらいたい。
冬を越えて、春頃より交流が出来ると嬉しい。

(管理者より)

- 運営推進会議が再開になり、2ヵ月に1回開催する。
次回は12月を予定している。